

空間を探す苦心

「住宅難」と云ふ聲は今更ごに云ふまでもない。
 雲空とした。ある日に。
 仙次は滋谷川に架つてある。新橋を渡つてある。凄味ある寒風が水面を襲い。其日の勢動に疲れた。彼の體を吹き巻く。彼は「お、寒い」と覺えず身體を縮めた。
 彼は毎日この橋を渡つて、ある工場に通ふのである。今日、彼は工場が定時間なので、空間を探し出かけたのであつた。雨降り道路は泥濘に、下駄には用捨なく土がついて、泥の飛沫が、春中のころまであがる。其れでも彼は、そんなところは頓着なく、空間を探す事に懸命にならなければならなかつた。其理由は彼が借してある家は商店であつたが、今度来た背頭が妻君を迎へるので一週間のうちに轉居して呉れとの交渉で、彼は從順にも其れを承諾したのであつた。
 仙次は橋を渡つて家並に行き當つた。

右に行くのと、左に行くのと反對な二つの道が、彼の前に開けた。けれども彼の足は無意識に左の方へと向いた。其れに「何等の意義もない。たゞ呆然と左へ行く方が空間が多くあるやうに思つたからである。彼は、荷馬車の轢に悪い道が、一層泥田のやうになるのを思ふと何となく癩に障つてならなかつた。彼は何時しかパイプ工場の脇へ出た。其の前には、新しい。二階建の家がある。何の家にも夕食を炊く煙が屋根の上に細く立ち別つてゐた。彼は殆んど一軒、一軒と這入つて空間の有無を問ふのであつた。丁寧に出て話をして呉れる家もあつたが怒りやすい彼は、何時か立腹して居るやうなこともあつた。
 「え？なんですか？」
 など無愛想に問返へされたりする時怪しい位輕蔑されたやうに感じて腹がむかひかしたつたが、そうした後から、自分で自分を批判するやうに悔しいやうな、嘲笑が湧いて來るのであつた。然し何の家も何の家も、彼の身體を入れて呉れるやうなものは一軒もなかつた。
 「こないだ深山の家があるんだから空間がない車はないだらうに……」と彼は頭やうやうにして二階を仰ぐのである。



(續次號)

彼は其邊の路次は大抵這入つて見た。其處には時によると、人間が住むには立派すぎるやうな宏大な、金蔵玉樓が、空に登りゆる。其れを見ることがあつた時は、彼は暫く其處に行んで羨ましやうに見てゐた。彼那家を生れた人間は何事に幸福であらうか。彼は何時しか其の建物の高さに囚はれてゐた。けれども今日は何んだか其等の建物に、彼には非常なる憎惡を以つて迎ひられてゐた。
 「俺のやうに住所に困つて居る者もある其れは恐らく俺のみではなからう。かふいふ者の爲めにも、富者は住宅の解放をなす必要はないだらうか」彼は現在の資本家が、自由興業の爲めに別荘を建築したり、又豪宅を造つたりしてゐるのを見ると、現在の境遇上からであらうが、彼には其れが癩に障つてならなかつた。

滋谷組合長 就任挨拶

若松健三郎

今日日本勢動滋谷組合創立に就き、私を以て組合長に選舉され、實に光榮の限りなれども、未だ若年にして世の経験に乏しく、加之のみならず、滋谷無智にして世慮の轉移、勢動の趨向、本組合の綱領等、是等對して機宜の處理は、恰かも無杖の盲者が歩むが如く、或は施策の過たらんことを恐る、故に組合の先輩及經驗に富む役員各位の御指導を以て、微力ながら私の本分を盡さんと覺悟し、爰に此の大任を受諾したる次第なり。
 車上の荷物は國家産業なり、勢と實は猶ほ其兩輪の如し、荷重からんか輪亦た之れに據ゆるの強なからざるべからず、我日本勢動組合は今や其重荷に堪ゆべき強大なる車輪を造るものなり、組合員の克己力を養ひ、精神の修養に依りて益々自信力を増大し、滔々たる時流に對しては、是等向つては、言ふて行はれ得ざるもの、是等向つては、言ふて行はれ得ざるもの、是等向つては、言ふて行はれ得ざるもの、本組合の向ふべき目標に外れざるやうに、滋谷組合の永久の發達を盡して以て組

組合長の本分を盡さんことを神聖に覺し、爰に就任の挨拶を兼ね、自分の所信を披瀝して各位の補翼に祈ふ

本部報告

芝浦組合成立延期
 本組合芝浦支部を本月より組合組織に改定すべく其整備中のところ從來の支部長其外支部役員も多忙なりし爲めと外に事情ありて準備不運のことあり不得止來月まで延期することにしました

川崎支部新設
 川崎は京濱兩鐵工業の延長に於ける合新地にして現在に於て東京電氣株式會社の如き大工場の數個ありて將來東都鐵工の中心地たるべき有望の地なれば本組合は同地に於ける本組合員の希望もあり又同地に支部を開設することにし來る六月の常例會理事會に於て評決の上事務所を開始することにすべし

東京電氣株式會社 研究所技師

工學士 **司城正木君**
 右本組合の顧問として特待す

名義濫用警告

元組合員 牧野 麟 祥
 先般來牧野麟祥なる者本組合幹部の名義

又は幹部の名刺を濫用し都下有志を歴勤金品の援助を求めつゝあれども右は本組合に何等關係無之候間右警告仕候

本部移轉

本組合總本部事務所は從來芝公園八號地に設置致居候ところ今般事務處理の都合に依り左記の場所に移轉仕候

東京市小石川區雜司ヶ谷町四十八番地

本部役員公告

本組合の名義を濫用するものあるを以て念の爲め役員を公表致置

- | | |
|---------|---------|
| 會長 | 得富 太郎 |
| 常務理事 | 萩原 要之助 |
| 同 務理事 | 千葉 三郎 |
| 同 務理事 | 森 村 幸助 |
| 同 務理事 | 船 越 芳藏 |
| 同 務理事 | 船 越 龍三 |
| 同 務理事 | 松 尾 龍三 |
| 同 務理事 | 渡 邊 忠三郎 |
| 同 務理事 | 若松 健三郎 |
| 同 務理事 | 加 藤 石 松 |
| 同 務理事 | 栗 林 健治 |
| 同 務理事 | 水 藤 春治 |
| 同 務理事 | 後 藤 春治 |
| 會計主任 | (新任) |
| 同 監 督 | |
| 同 相 談 役 | |